みんなのページ

みんなで5・7・5

みんなで創るみんなのページ。
ここ最近、川柳が大人気です。
イラスト・写真も引き続き募集中。
素敵な作品をお待ちしています。

・村民に生まれ町民市民へと
西川五磋三さん（高島市高島）

・車窓から整形したき棚田かな
平井ちくさん（朽木大野）

・うららかや琵琶湖畔花見にぎ合ふ
粟津秀さん（マキノ町山中）

・雨上がり筍目覚め顔を出し
井上善三さん（今津町浜分）

・はるうらら幸せ運ぶ花の宴
早田弘子さん（今津町今津）

・儲かると勧める側が儲けてる
平井真造さん（安曇川町上古賀）

・出てほしい黄門さまのような人
清水イチ子さん（今津町今津）

・豊かさえもったいないを死語とせず
清水真夫さん（今津町今津）

・おんぶした孫がささえる八十路すぎ
小谷久雄さん（高島市高島）

・初孫や早く出て来て五月晴れ
大江喜代美さん（新旭町藁園）

・挨拶の違うコンビニないのかな
石井輪夫さん（安曇川町田中）

・チャイム鳴る悪人来そうで氣の構え
上田寿子（朽木荒川）

・春の宵家路に急ぐ雀二羽
松本喜さん（今津町今津）

・喜寿すぎひ孫に好きと涙出る
浅井敏子さん（今津町福岡）

・陽だまりへ花も私も息をはく
斉藤光江さん（安曇川町今在家）

・ご年配ヤングに負けじと神輿かく
上山惟裕さん（高島市城山台）

・新芽ふく伸び行く子等の夢無限
鈴木京子さん（安曇川町藤江）

・重い雪たえてめを出すふきのとう
前田とみさん（今津町浜分）

・老いた筈おんぶした孫巣立ちして
原田スマさん（今津町桂）

・こうのとりきっと来てねと願う母
曽根ケイ子さん（新旭町饗庭）

・この腰でイナバウアーと四月馬鹿
井口みよさん（高島市高島）

・天国の父母に見せたし海津の桜
寺田義輝さん（マキノ町西浜）

毎日募集中！

■みんなで5・7・5「川柳」テーマは特に設けません。ひとり1作品まで。自由に発想した作品をお待ちしています。

■集まれ！画伯「絵・イラスト」子どもたちのかわいい作品大募集！対象者は0歳から15歳まで。

■まちの宝物「写真」カメラ付携帯電話やデジカメで撮影したあなたが見つけた「まちの宝物」をお送りください。

★投稿方法　毎月5日〆切。郵便またはEメールにより、投稿者氏名（ペンネーム可、ふりがな付、住所、連絡先を必ず書き添えて投稿してください。
〒520-1592
高島市新旭町北畑565番地
高島市役所秘書広報課
「みんなのページ」係まで
☎(25)8130
✉koho@city.takashima.shiga.jp

★注意!!
・掲載作品は秘書広報課で選考します。
・1号につきひとり1点まで掲載します。なお、掲載希望が多数の場合や〆切を過ぎた場合掲載しないことがあります。
・作品のタイトル、住所、氏名、連絡先の無いものは掲載できません。投稿前にもう度ご確認ください。

ちょっと考えてみよう♪

◉省エネ・リッチ作戦にチャレンジ

毎日の生活の中で、節電などの省エネを心がけることは、地球にやさしく、お小遣いも稼げてちょっぴりリッチな生活を楽しめます。

■省エネアドバイス
【お風呂・洗面所・トイレで年間 10,000円 お得編】

★お風呂の水張りは夏は朝、冬はわかす直前に入れましょう。
★お風呂は続けて入り、追い炊きをしないようにしましょう。
★シャワーは出しっぱなしにせず、体や髪を洗っている時などはこまめに止めましょう。
★お風呂の残り湯を洗濯に使いましょう。
★洗顔や歯磨きの時は、ゆすぐ時まで水を出さないようにしましょう。
★暖房便座のヒーターは、外出時や就寝時にはスイッチを切りましょう。
★トイレで水を流す時は、大小のレバーを使い分けましょう。
★洗濯機の詰め込みすぎ、すすぎ洗いはやめ7・8割程度で洗いましょう。

省エネタイプの製品に買い換えるのも賢い方法です。

【洗濯機】
★家族の人数や洗濯物の量に応じたものを選びましょう。
★消費電力とともに、使用水量の少ないものを選びましょう。
★容量7kg全自動洗濯機の省エネ性能にもこんなに差があります。

◇年間消費電力量
・最大値　49.3kWh／年
・最小値　19.0kWh／年

◇年間使用水量
・最大値　50,735L／年
・最小値　32,485L／年
（8メーカー13機種比較、1日1回365日洗濯するという仮定）

■出所　省エネ性能カタログ（財団法人／省エネルギーセンター発行）
HP http://www.ecci.or.jp/catalog/
最新家電製品の省エネランキングもわかります。

◆このコーナーに関するお問い合わせは…　市役所環境エネルギー課まで。

ちょっと考えてみよう♪

◉平成17年度「高島市エコライフ推進協議会」事業

環境にやさしいお買い物キャンペーン
（環境に配慮した生活に係るPR活動）
アンケート結果について

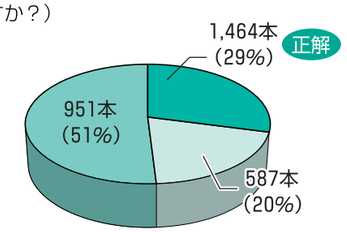
地球温暖化や世界的な異常気象など、地球規模での環境問題が深刻化しており、その原因の一つである大量生産大量消費型の社会の仕組みを資源循環社会に転換していくことが重要となっています。

このためには、私たち一人ひとりが暮らしの身近な行動の中から環境に配慮した取り組みを進める必要があります。

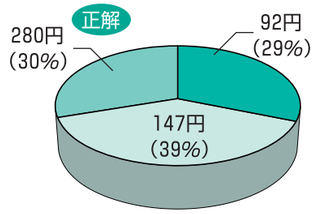
そこで、環境に配慮した生活のPR活動と"お買い物袋持参"を訴え、環境に配慮した行動（ごみ減量等）の定着を目指して店頭啓発とアンケート調査を実施しました。

▼実施日時
平成18年3月18日（土）
▼実施場所
平和堂今津店・安曇川店

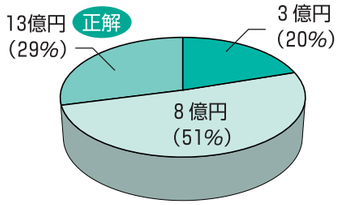
問❶　レジ袋は石油から作られています。レジ袋使用による年間石油消費量は、高島市でどのくらいだと思いますか？（200㍑ドラム缶で何本くらいだと思いますか？）



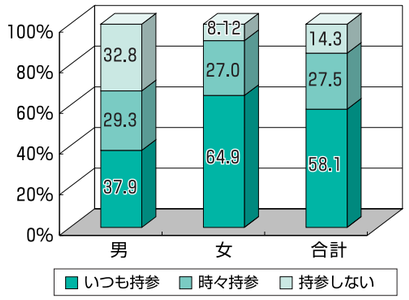
問❷　高島市のごみ袋1個あたりの処理費は、どのくらいかかっていると思いますか？



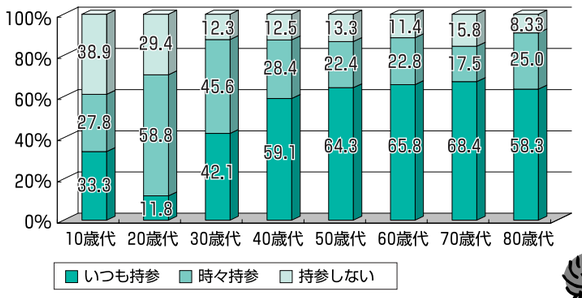
問❸　高島市のごみ処理費用は1年間で、どのくらいかかっていると思いますか？



お買い物袋の持参率（性別）



お買い物袋の持参率（年代別）



▼総評
お買い物袋の持参率は、女性が高いが、若い人の持参率が低い。
「資源の節約」、「ごみの減量」を目指している環境問題に対する意識の高い人が多く、しかも、そのことが「習慣化」している人もかなり多い。
高島市のごみ事情については、正解率は30％程度でした。